

Develop the future

～みらいをひらく～

国立大学法人等職員として働く

1. 国立大学法人等の各機関

2. 国から独立した組織

3. 民間企業？それとも公務員？

4. 社会的使命と役割

5. 選べる専門分野

6. 事務のフィールド

7. 図書のフィールド

8. 技術のフィールド

9. キャリアデザイン

10. 勤務条件

11. ワークライフバランス

1.国立大学法人等の各機関



大学に加えて、博物館、研究所なども含まれ『等』と表現しています²。

国立大学法人

茨城大学

筑波大学

筑波技術大学

宇都宮大学

群馬大学

埼玉大学

千葉大学

東京大学

東京医科歯科大学

東京外国語大学

東京学芸大学

東京農工大学

東京芸術大学



東京工業大学

東京海洋大学

お茶の水女子大学

電気通信大学

一橋大学

政策研究大学院大学

横浜国立大学

総合研究大学院大学

新潟大学

長岡技術科学大学

上越教育大学

山梨大学

信州大学



大学共同利用機関法人

人間文化研究機構事務局

国立歴史民俗博物館

国文学研究資料館

国立国語研究所

自然科学研究機構事務局

国立天文台

高エネルギー加速器研究機構

情報・システム研究機構事務局

国立極地研究所

統計数理研究所

国立情報学研究所



独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所
大学入試センター
国立青少年教育振興機構
国立赤城青年の家
国立妙高青少年自然の家
国立信州高遠青少年自然の家
国立女性教育会館
国立科学博物館
物質・材料研究機構
防災科学技術研究所
大学改革支援・学位授与機構

東京国立近代美術館
国立映画アーカイブ
国立西洋美術館
国立新美術館
東京国立博物館
東京文化財研究所
教職員支援機構



国立高等専門学校機構

国立高等専門学校機構
茨城工業高等専門学校
小山工業高等専門学校
群馬工業高等専門学校
木更津工業高等専門学校
東京工業高等専門学校
長岡工業高等専門学校
長野工業高等専門学校

特別な学校法人

放送大学



2. 国から独立した組織

国立大学法人化（平成16年4月）

<組織の位置づけ>

国の行政機関
文部科学省の行政機構の一部



法人格のある機関
運営主体は各機関

<職員の身分>

国家公務員



法人職員

個々の独立した機関に生まれ変わり、経営の責任と自由が増大しました。

3.民間企業？それとも公務員？

民間企業

民間的な発想の
経営手法

公務員

公共的な役割
税金による運営

国立大学法人等の各機関

利益だけではない公共的価値の追求、個性と
特色を活かした運営により大学等の活性化、
サービスの質の向上を目指す

4. 役割と社会的使命

教育

- 生涯学び続け、主体的に考え、行動できる人材の育成
- グローバル化に対応した人材の育成

研究

- 我が国や地球規模の課題を解決する大学、研究拠点の形成
- 我が国の学術研究と研究者育成の中心

地域貢献・国際貢献

- 教育・研究の成果を地域、日本、世界に向けて提供
- 地域振興全般にわたる地域再生に不可欠な中核拠点機能

教育・研究を通じて社会に貢献する役割を果たしています。

5. 選べる専門分野

事務系

事務

図書

技術系

施設系

電気

機械

土木

建築

教育研究支援系

電気

化学

電子

情報

機械

物理

生物

生命科学

資源工学

土木

農学

建築

林学

「事務系」と「技術系」にわかれ、さらに区分ごとに仕事内容が異なります。

6. 事務のフィールド

事務

学生支援

学生の入学から卒業までをサポート

国際交流

留学や海外との学術交流を推進

総務・人事

入学式や卒業式の運営や教職員の採用等

研究支援

研究資金の管理や産業界との連携の推進等、研究活動を推進

広報・社会連携

機関の教育研究活動の内容やその成果を社会に発信

財務

機関の予算管理や物品購入の契約等を実施

医療支援

附属病院の管理運営業務

企画・評価

機関を発展させるための計画を立案し、進捗等を評価

どんな仕事にも前向きに挑戦していくことができる方を求めています！

7 .図書フィールド

図 書

サービス

【多様な利用者に対応】

- 1.貸出、返却、利用者登録等
- 2.相互貸借・文献複写
- 3.資料の修復・保全・電子化

管理

【図書館の基盤を支える】

- 1.図書や雑誌の選定・受入
- 2.資料の目録・装備
- 3.電子リソース契約・利用支援

総務・情報システム

【他部署・他機関との連携・協力】

- 1.国内の大学図書館等との連絡調整
- 2.学外からの問い合わせ・見学対応
- 3.図書館システムの管理・運用

専門知識を活かして機関の運営、教育・研究を支える仕事で活躍できます。

8.技術系のフィールド

技術系

施設系

業務内容

- 1.施設・設備に係る予算管理
- 2.大学施設の有効活用
- 3.建物設備等の設計・積算、維持保全
- 4.省エネルギー対策

該当する試験区分

電気

機械

土木

建築

教育・研究支援系

業務内容

- 1.実験結果のデータ解析
- 2.学生実験、工作実習の技術指導
- 3.実験装置の操作や維持管理
- 4.観測技術の開発、資料作成

該当する試験区分

電気

機械

土木

建築

化学

物理

農学

林学

生物・生命科学

電子・情報

資源工学

専門知識を活かして機関の運営、教育・研究を支える仕事で活躍できます。

9. キャリアデザイン

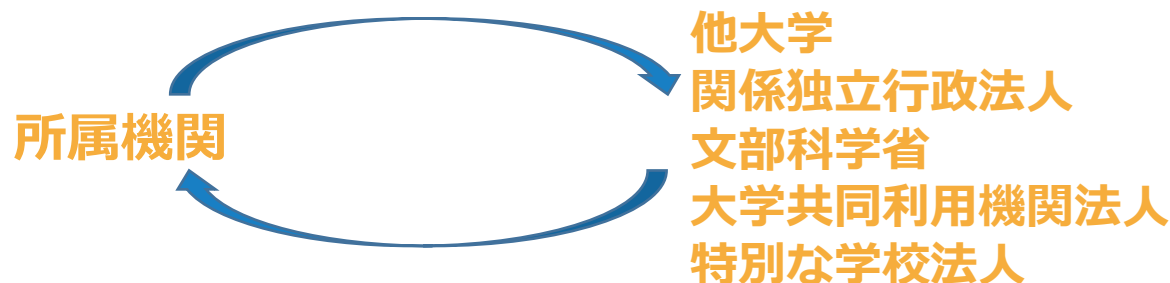
キャリアパス



多岐にわたる研修

- 階層別研修 例：新規採用職員研修、係長研修
- 目的別研修 例：会計研修、外国語研修
- 自己啓発支援 例：資格取得支援

他機関との人事交流 (1～3年程度)



最適なキャリアを設計するための制度が整っています。

10.勤務条件

勤務時間：1日 **7時間45分**（週38時間45分）

（例）8時30分～17時15分：機関により異なります

休日等：**完全週休2日（土日）、祝日、夏季休業、年末年始等**

給与等：※以下は初任給の代表的な例（各種手当除く）

大卒	修士修了	博士修了
182,200円／月	195,500円／月	211,300円／月

（採用前の職歴等で決定）

（昇給は原則年1回1月、賞与は6月と12月の年2回）

各種手当：**通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当、地域手当等**

福利厚生：**健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、職員宿舎、学校施設の利用等**

多様な生き方をサポートしています。

1 1.ワークライフバランス

子育て支援 ・ ・ ・ ・ 産前産後休暇、育児休業制度、
育児短時間勤務制度など

休暇・休業制度 ・ ・ 夏季休暇、結婚休暇、介護休業、
ボランティア休暇など

健康管理 ・ ・ ・ ・ 健康診断の実施、
人間ドックの助成など

レクリエーション ・ 職員サークル、スポーツ大会など

施設の利用 ・ ・ ・ ・ 各機関の所有する体育施設、
附属図書館など

多様な生き方をサポートしています。

国立大学法人等職員採用試験について

1. 地区ごとに行われる採用試験

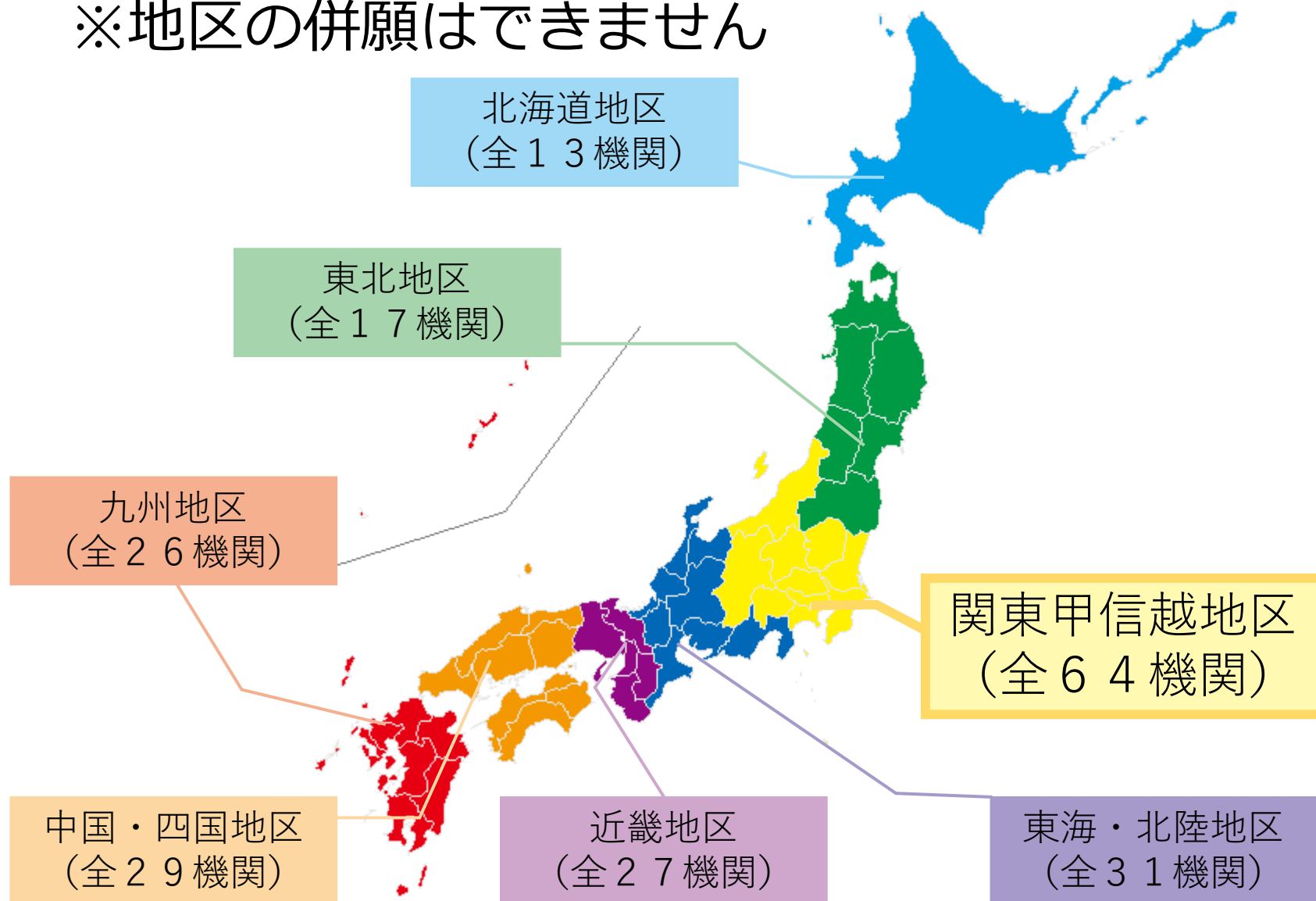
2. 採用試験のプロセス

3. 注意事項

4. 今後の情報について

1.地区ごとに行われる採用試験

※地区の併願はできません



2.令和5年度採用試験日程等

※詳細は、必ず試験案内を確認してください。

受験資格

平成5（1993）年4月2日以降に生まれた方

第一次試験

申込期間

5/10(水) 10:00～5/24(水) 17:00

※採用希望地区、第一次試験受験地区、試験区分を選択し各採用試験HPから申込み。

※第一次試験受験地区は、採用希望地区に関わらず、受験に便利な地区を選択できます。

試験日

7/2(日) 教養試験40題

一般知識20題（社会7、人文7、自然6）

合格発表日

7/20(木)

一般知能20題（文章理解7、判断推理8、数的推理及び資料解釈5）

第二次試験

図書のみ、
7/29(土)専門試験(筆記)を実施

機関ごとに実施、希望機関へ各自申込みが必要

（各機関HP等で、日程、申込方法等を確認）

（複数機関を受験することが可能）

7/22(土)関東甲信越地区採用説明会（オンライン）

※個別説明会を行う機関もあります。

最終合格(内定)

内定応諾は1機関のみ

応諾後「第二次試験合格届」を提出

3. 注意事項

採用予定数

- ・ 3月上旬にホームページで採用予定数を公表します。
- ・ 採用予定数はその後増える場合があります。
- ・ 最新の情報は、随時ＨＰで確認してください。
- ・ 4月下旬の時点で採用予定のない試験区分は試験を実施しません。＜必ずＨＰで確認＞

地区及び試験区分

- ・ 採用希望地区は、全国7地区から1地区のみ選択できます。
- ・ 第一次試験受験地区は、採用希望地区に関わらず、受験に便利な地区を選択できます。
- ・ 試験区分は、事務、図書、技術系(11区分)の計13区分の中から、1区分のみ出願できます。

技術系試験区分の各機関ごとの職務内容や求める専門知識等

- ・ 採用予定数と同時にＨＰで公表します。

第一次試験

- ・ 過去問は公表していません。例題をＨＰで公表しています。
- ・ 出題範囲は、3月上旬に公表される試験案内を確認してください。

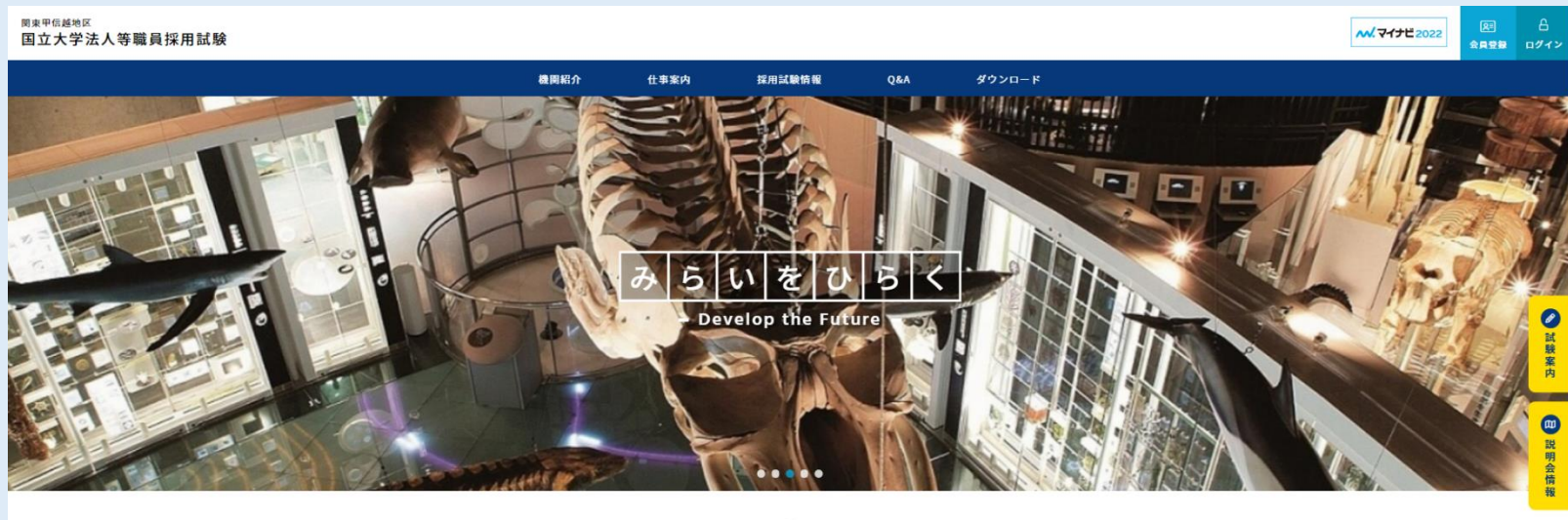
第二次試験

- ・ 第二次試験は、面接考査等を行いますが、機関ごとに日程・内容が異なります。
- ・ 各機関のホームページ等で確認してください。

4. 今後の情報について

HP

関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験



関東 国立大学法人等



先輩職員の声や今後の説明会情報もホームページにてご案内します！

※関東甲信越地区以外の情報は、各地区の採用試験HPをご確認ください。

4. 今後の情報について

PR

関東甲信越地区国立大学法人等仕事紹介ガイドブック



現役職員へのインタビュー
や各機関の紹介など
国立大学法人等職員の仕事
内容についての知識が充実
した一冊です。

関東 国立大学法人等 ガイドブック



※関東甲信越地区以外の各地区でもガイドブックを発行しています。
詳しくは、各地区の採用試験HPをご確認ください。

4. 今後の情報について

S N S Twitter・Instagram



インスタライブも
やっています！

質問箱開設中！

アカウント名：関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験事務局

I D：kanto_koshin

※ Twitter・Instagram共通

国立大学法人等職員の魅力

全国
207機関

公共性

積極的な経営

教育

学術研究

社会貢献

仕事の多様性

自己成長

ワークライフ
バランス

創造的で充実した仕事が皆さんを待っています